

## 24 大学間連携システムとイノベーション：知識経済におけるネットワーク戦略の国際比較

研究代表者 北川 文美（高等教育研究部 主任研究官）

### ①研究の趣旨，ねらい

本研究は、知識経済とグローバルイノベーションを背景に、イノベーション政策のマルチ・レベル・ガバナンスの構造を背景として、イノベーション過程における大学機関が果たす役割を明らかにする。特に、大学間の連携、大学と産業、公的機関とのネットワーク戦略を国際比較する。

### ②研究成果の概要

- 政策レベル、機関戦略についての比較研究を行った。
- 平成17年度は、日本の事例を中心に、イノベーション政策の多層化と大学の機関戦略についての考察を行った。
- 平成18年度は「地域イノベーション政策」と大学の知的資源の活用に焦点を絞り、地域レベル、都市空間におけるイノベーション・プロセス、大学のパートナーシップとネットワークの形成に関して、調査・研究を行った。
- 研究成果に関しては、2005年11月、マンチェスター・サルフォード大学におけるワークショップで発表をしたほか、2点の学術論文、1点のワーキング・ペーパーとして出版した。
- また、OECD主催の会議への参加、イギリスにおける共同研究などを通じて、国際的な情報交換、研究交流を行った。

### ③中期目標との関連性

- 知識社会における大学の機能に関する研究
- 大学と社会との連携に関する実証研究
- 日本における高等教育政策と他国における政策との比較研究

### ④本研究に盛り込まれている主なデータ項目

- 国際大学間ネットワークに関する聞き取り調査
- 地域科学・イノベーション政策と大学政策との連携についての文献調査
- ヨーロッパ連合による高等教育の研究ネットワークについての聞き取り

### ⑤今後の研究予定

- 地域レベルにおける「スキル・システム」についての考察
- 大学間の戦略的研究連携についての実証的研究
- 大学が地域におよぼす影響についての空間的考察

⑥キーワード

- (1) 高等教育 (2) イノベーション (3) 大学間連携
- (4) 知識経済

⑦本研究の研究報告書

- Kitagawa, F. (2005) “New S&T Policies and Re-positioning of Universities in the Changing National Innovation System - A View from Japan” RSCAS Working Paper, Florence: European University Institute.
- Kitagawa, F (2006) ‘Re-Positioning Universities in Multi-Spatial Innovation Systems- The Japanese Case’ ***Social Epistemology*** Special Edition, T. May and B. Perry eds., ‘Universities in the Knowledge Economy: Places of Expectation, Spaces of Potential?’. Vol. 20. No.3/4. pp.299-314.
- 大学間連携システムとイノベーション：知識経済におけるネットワーク戦略の国際比較 研究課題番号 17730477 報告書 平成19年3月

⑧関連する先行研究や参考となる研究等

- Kitagawa, F. (2005) ‘Entrepreneurial Universities and the Development of Regional Societies:A Spatial View of the Europe of Knowledge’ ***Higher Education Management and Policy***: Vol.17 No. 3 Special Issue on *Entrepreneurship* pp.65-90 Paris: OECD.